

## ウシのメス“うーたん”の安楽死について

個体名 うーたん

生年月日:平成 18 年(2006 年)11 月 23 日生まれ 16 歳

来園月日:平成 19 年(2007 年)2 月 13 日

ウシのメス“うーたん”は平成 19 年(2007 年)に来園以来多くの皆さんに愛されてきました。大変穏やかな性格で、仲良くなろう「ウシ・ラマ・アルパカ」では、直接ふれあえることで多くのお客様にぬくもりや貴重な体験を与えてくれる人気者でした。

ホルスタインの寿命は 15～20 年程度といわれており、ここ数年は年齢と共に四肢の筋力の衰えや、過去の関節炎の影響による関節腫脹や変形が見られるようになりました。さらに最近では、関節の動きが悪くなり、日々のケアを強化したり、ヒアルロン酸を注射したりして現状を維持している状況が続いていました。

令和 5 年(2023 年)7 月 3 日(月)に起立できなくなり、翌日に行った血液検査では筋肉や骨を痛めていることを示す数値は上がっていたものの、起立不能の原因になるような大きな異常はなく、腰部を吊り上げ何度か起立を促しましたが、補助をしても立つことは出来ませんでした。

園内で何度も協議を重ね、7 月 12 日(水)には“うーたん”の環境改善と現状の確認のため、人力で寝室を移動し医療的には衰弱を防ぐための皮下補液と褥瘡の治療を行ってきました。7 月 15 日(土)に全身状態が悪化し横臥状態となり、食欲の低下も明らかになりました。体力の消耗が大きく、繰り返し行っている血液検査の結果から、今後の起立や回復の見込みはなく、痛みや苦しみが増して行くことが明らかであったため、協議を行い、このような状態から解放させるために、7 月 15 日(土)の夕方に薬剤による安楽死処置を行いました。

これまでかわいがってくださりありがとうございました。

### 盛岡市動物公園 ZOOMO の安楽死の判断基準

- ①治療を行っても回復が見込めない
- ②生活の質が低下したままである
- ③症状の進行により苦痛、痛みを伴う

これら 3 つの判断基準に従って園内で協議を重ね判断しました。